



### 行政文書を西暦表記へ／現状では震災用井戸は活用できない

橋本久雄議員(緑の党こだいら)

改元に伴い行政文書は原則として西暦表記とすべき

質問 ①行政文書に年号を記載する場合の基準は。

②西暦表記の町田市の評価は。

③西暦を基本に必要な際は元号併記として統一できないか。

市長 ①明示した基準等はない。

②表記の法的規定はなく各自自治体に対応しているものである。

③国の見解等注視し対応する。

現状では災害時、震災対策用井戸は有効に活用できない

質問 ①場所の公表、標識の設置、ルール作成と表示、周辺住民への周知等改善が必要では。

市長 ①場所の公表、標識の設置、ルール作成と表示、周辺住民への周知等改善が必要では。

### 所有者不明土地問題の解決／障害者グループホームを守る

磯山 亮議員(政和会)

所有者不明土地等の対策について

質問 ①市内の所有者不明土地の数と把握のための取り組みは。

②住民票、除かれた住民票、戸籍の附票、除かれた戸籍の附票は、所有者不明土地の所有者を探る際、本人の同一性を住所、氏名により特定し証明できる手段である。住民票の除票及び戸籍の附票の除票に関して、保存期間を延長してどうか。

市長 ①課税している土地において5件ある。現地調査をする

とともに、住民票、戸籍等を調査し、把握に努めている。

②保存期間の延長は有用と認め

ていない。

識している。国の検討状況等注視し今後の対応を研究していく。

障害者グループホーム都加算制度の改定が及ぼす影響について

質問 ①市内グループホームに対する影響は。

②都に対し、市内事業者の法人運営に影響がないよう激変緩和の検討や丁寧な説明、詳細な実態調査等を提案してはどうか。

市長 ①週末に実家等に帰宅する利用者や軽度の障害者の利用が多いグループホームは、補助金が増額になる可能性がある。

②担当部長会等の機会を捉え、事業者の声を都に伝えていくとともに丁寧な説明を求めていく。

子どもたちの外遊びを保障するプレパークを活用しよう

平野ひろみ議員(生活者ネットワーク)

質問 ①第三次長期総合計画に掲げるプレパーク設置について、その経過と実現に向けた取り組み、また今後の活用を問う。

②子どもにとっての外遊びの場所や時間についてどう保障しているか。

市長 ①小川町一丁目区画整理事業区域内のきつねばら公園にプレパークエリアを整備すると公表した後、関係団体などからの要望に基づき整備し、平成23年7月から供用開始した。今後もプレパーク活動ができる場として提供を継続する。



### 子どもたちの外遊びを保障するプレパーク／給食の食器改善

平野ひろみ議員(生活者ネットワーク)

子どもたちの外遊びを保障するプレパークを活用しよう

質問 ①第三次長期総合計画に掲げるプレパーク設置について、その経過と実現に向けた取り組み、また今後の活用を問う。

②子どもにとっての外遊びの場所や時間についてどう保障しているか。

市長 ①小川町一丁目区画整理事業区域内のきつねばら公園にプレパークエリアを整備すると公表した後、関係団体などからの要望に基づき整備し、平成23年7月から供用開始した。今後もプレパーク活動ができる場として提供を継続する。

質問 ①第三次長期総合計画に掲げるプレパーク設置について、その経過と実現に向けた取り組み、また今後の活用を問う。

②子どもにとっての外遊びの場所や時間についてどう保障しているか。



小学校給食の食器(左からPEN樹脂食器、アルミ食器、強化磁器食器)



### 防災／学校での宿泊行事

小林洋子議員(フォーラム小平)

避難所管理運営マニュアル作成状況について

質問 ①避難所管理運営マニュアル作成対象としているのは何か所か。

②未着手の避難所の課題は。

地域住民への声かけがうまくいっていない場合、消防団OBや災害時支援ボランティア登録者への声かけが有効と考えるがどうか。

市長 ①市立小・中学校及び元気村おがわ東の28か所である。

②避難所運営の中心となるリーダーの育成等が課題である。提案を含めより多くの地域住民に協力してもらえよう務める。

質問 ①宿泊行事を行う目的は。

②宿泊行事をふやして欲しい等、校長会などから要望が上がったことはあったか。

③宿泊行事をふやすことを検討して欲しいと考えるがどうか。

教育長 ①見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活のあり方や公衆道徳等についての体験を積むことである。

②5年生でも移動教室を実施できないかとの声はあった。

③教育的効果や保護者と市の負担増等について協議し実現の可能性の見きわめが必要である。

防災備蓄品を無駄なく消費する回転備蓄を進めよう

山崎とも子議員(生活者ネットワーク)

質問 ①災害に備えた食糧備蓄品の入れかえ後の活用方法は。

②乳児用液体ミルクを回転備蓄することについて市の見解は。

③医薬品の備蓄状況と慢性疾患用処方薬の備蓄への見解は。

市長 ①クッキーやアルファ化米は自治会等に提供し防災訓練時の炊き出し訓練に活用してもらうほか、防災教育の一環として中学校給食で活用。粉ミルクは市内保育園で活用している。

②災害時には有用だが価格が高いなど現時点の実現は難しい。

③医師会、薬剤師会とともに

本年度災害用医薬品の整備を進めるなどしていく。



### 公共交通をよりよいものにするために受動喫煙防止を進めよう

山岸真知子議員(市議会公明党)

小平市の公共交通をよりよいものにするために

質問 ①南西部地域のコミュニティタクシーを考える会での検討状況は。

②高齢者など移動困難な人への福祉的な視点を踏まえ、公共交通体系のあり方を再検討する必要があると考えるが見解は。

市長 ①上水本町地域はルート案見直しの検討をしているため、鷹の台駅西側地域から実証実験運行開始の進捗を進めている。

②南西部地域の交通体系が整備された段階で、市内の交通機関の状況を踏まえ、近隣市との連携等を含め、今後の公共交通

に関する考え方を検討していく。子どもの安全や健康増進の視点で受動喫煙防止を進めよう

浅倉成樹議員(市議会公明党)

質問 ①小平団地東側の鈴木街道と五日市街道等の改善について

質問 ①小平団地東側の鈴木街道の歩道改善のため団地側の用水路を含む歩道の一部をスロープ側に付けかえる提案を平成17年にしたが、現在の都の考えは。

②喜平橋から茜屋橋間の五日市街道で、歩道設置のための買収はどの程度進んでいるか。

市長 ①団地側の用水路を車道へ改修する必要があり、その場合、用水路の側壁等の構造が車両の通行に耐えられないことなどから、難しいと聞いている。

②都からは、5割強の事業用創設を検討していく。

質問 ①駅前周辺の通学路での路上喫煙を規制すべきだが見解は。

②健康増進の視点から受動喫煙の有害性等の知識の普及啓発を強化すべきだが、教育委員会におけるこれまでの取り組みは。

市長 ①市内全域で歩きたばこ防止等に取り組んでいるが、駅周辺では、子どもを受動喫煙から守る認識と理解をより深めてもらうことが重要と考えている。

教育長 ②保健体育科の授業で、喫煙が周りの人の健康に及ぼす影響を考える学習等行っている。

一般質問

表 彰 制 度 の 創 設

鈴木街道と五日市街道の改善

表 彰 制 度 の 創 設

鈴木街道と五日市街道の改善